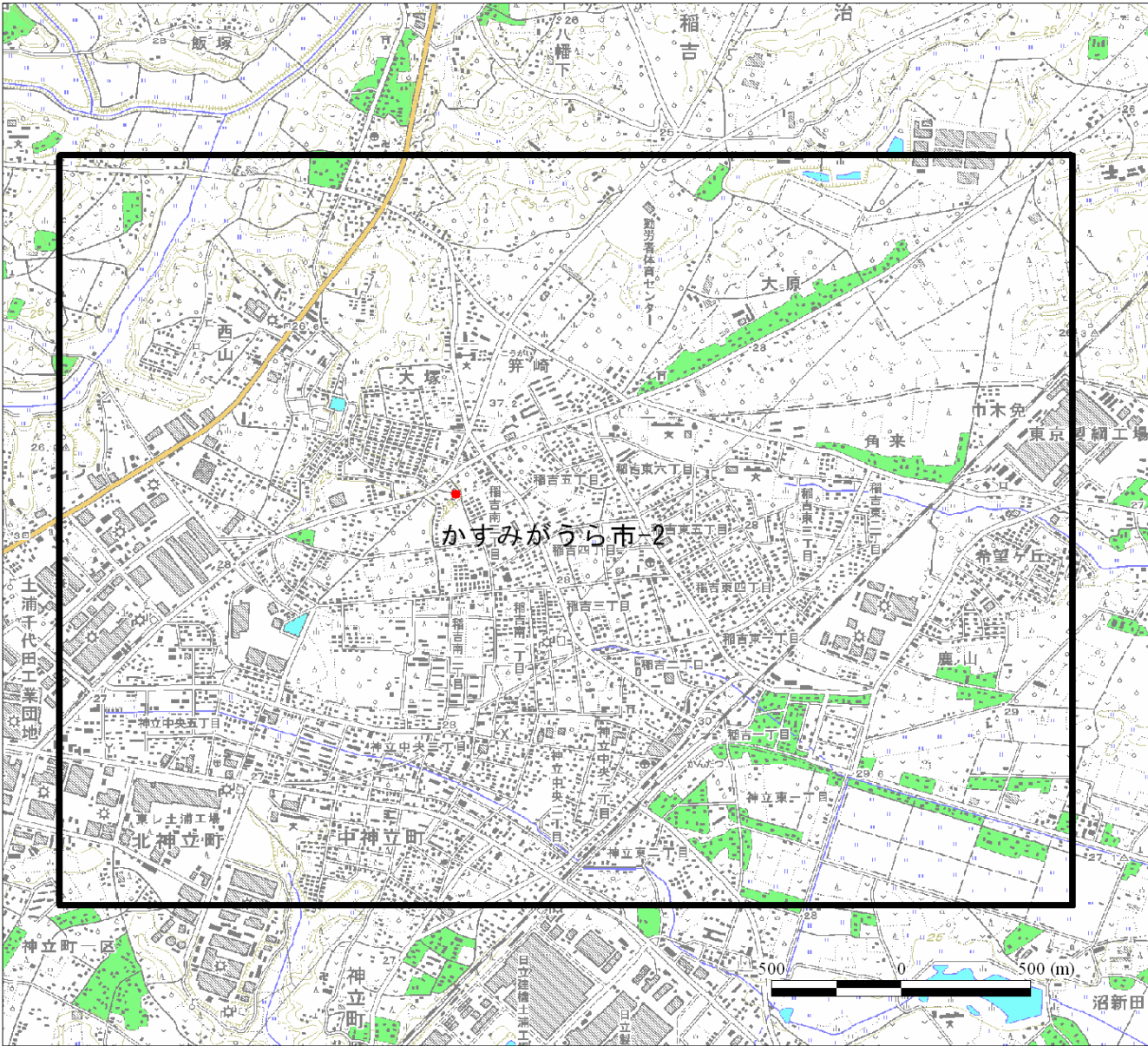
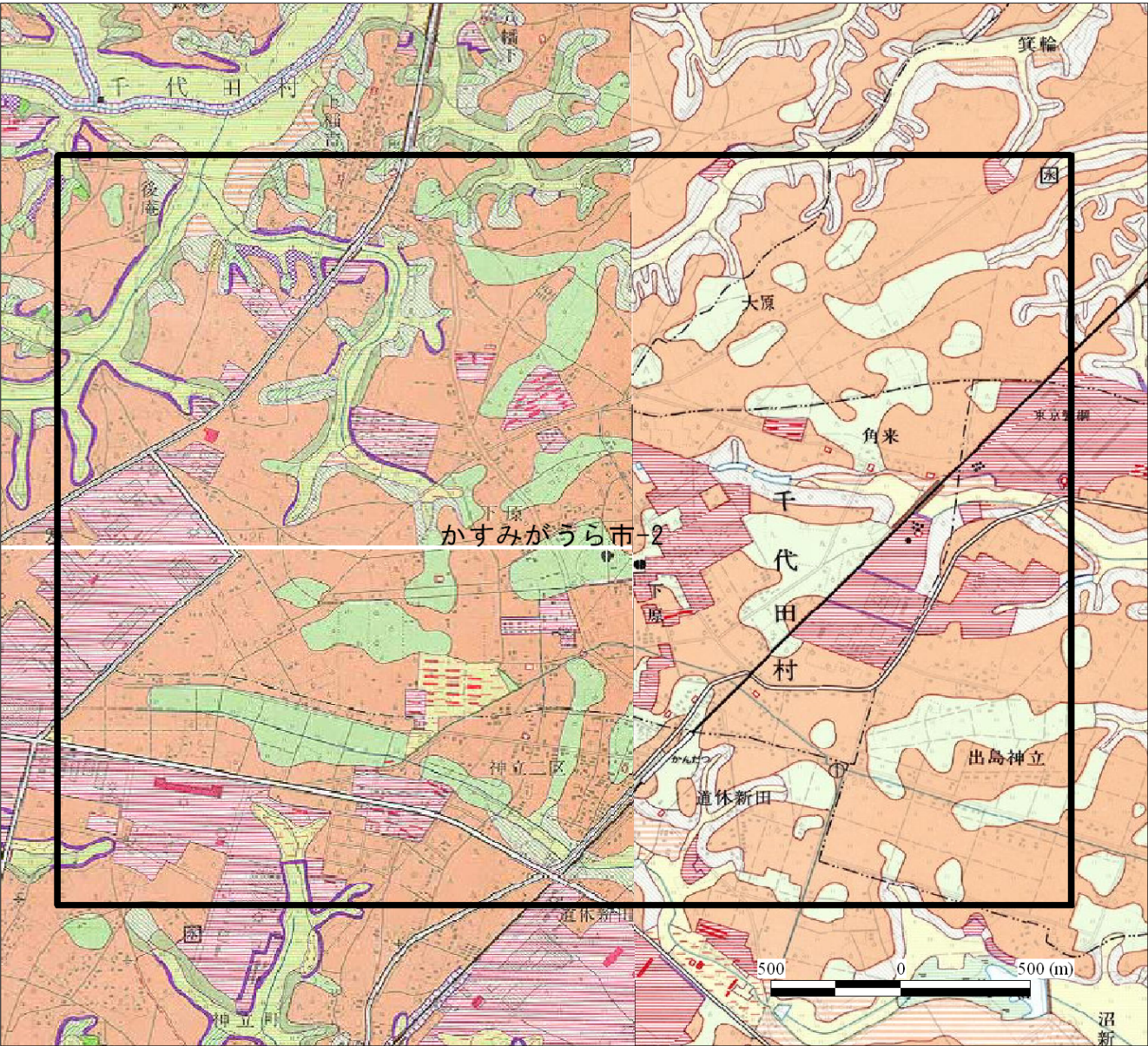


箇所名	かすみがうら市-2		都道府県	茨城県	市区町村	かすみがうら市	地区	稲吉南		1/6
発生面積	小	地形分類	谷底低地を改変		液状化発生履歴	液状化の履歴なし				
土地改変履歴	40年ほど前に水田・用水路を造成して宅地化									
被害概要	住宅3軒が全壊(現地調査時には取り壊し済)。全壊した戸建住宅の隣のアパートの駐車場に亀裂、駐車場境界部の側方変位									
噴砂の状況	不明	地盤の変形量(沈下、傾斜)		アスファルトに数cmの亀裂、境界部の側方変位10cm					被害の程度	小
出典・調査	かすみがうら市ヒアリング、東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会									

平面図（赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない）

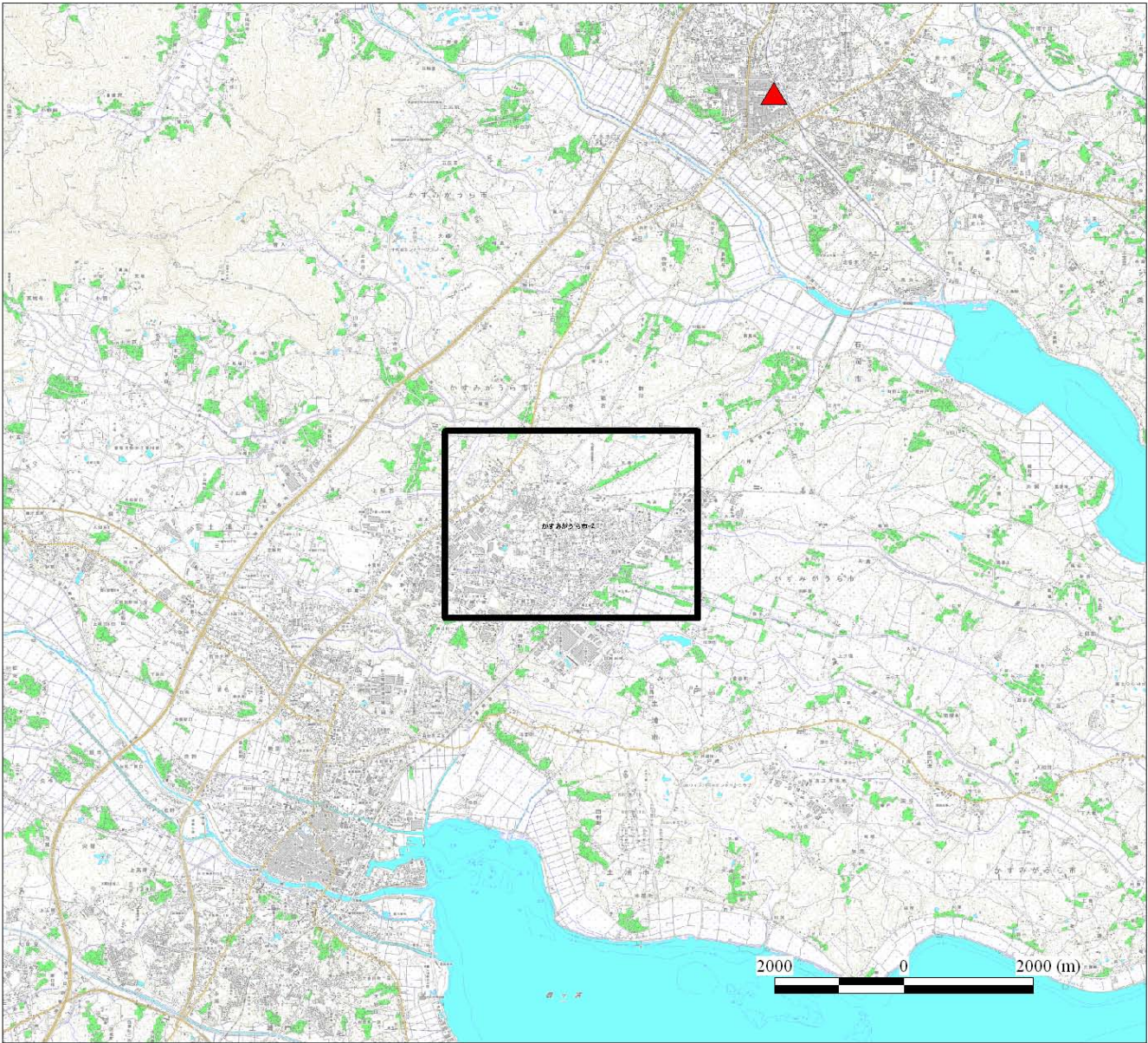


土地条件図

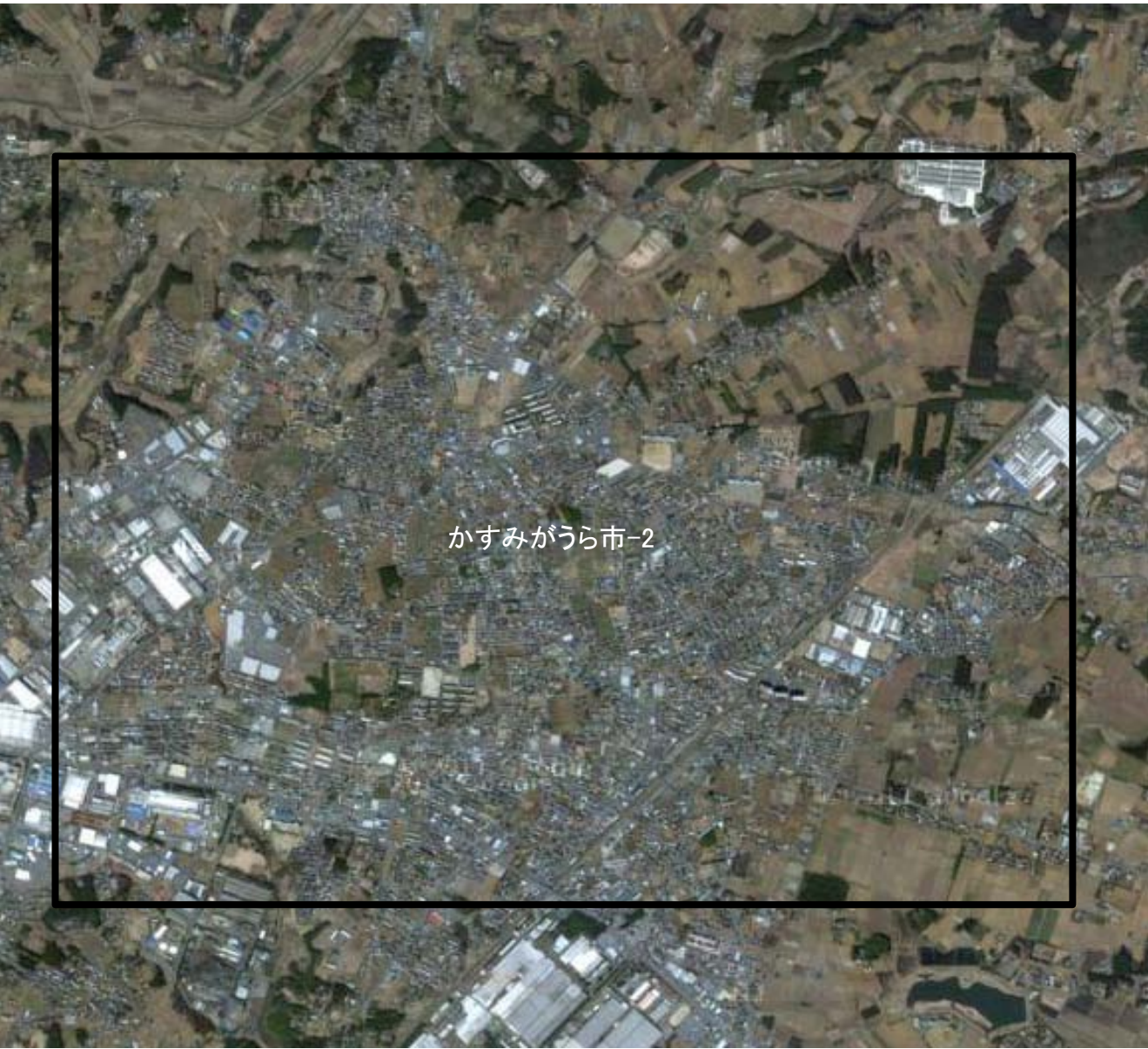


箇所名	かすみがうら市-2		都道府県	茨城県	市区町村	かすみがうら市	地区	稲吉南	2/6
発生面積	小	地形分類	谷底低地を改変		液状化発生履歴	液状化の履歴なし			
土地改変履歴	40年ほど前に水田・用水路を造成して宅地化								
被害概要	住宅3軒が全壊(現地調査時には取り壊し済)。全壊した戸建住宅の隣のアパートの駐車場に亀裂、駐車場境界部の側方変位								
噴砂の状況	不明	地盤の変形量(沈下、傾斜)		アスファルトに数cmの亀裂、境界部の側方変位10cm				被害の程度	小
出典・調査	かすみがうら市ヒアリング、東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

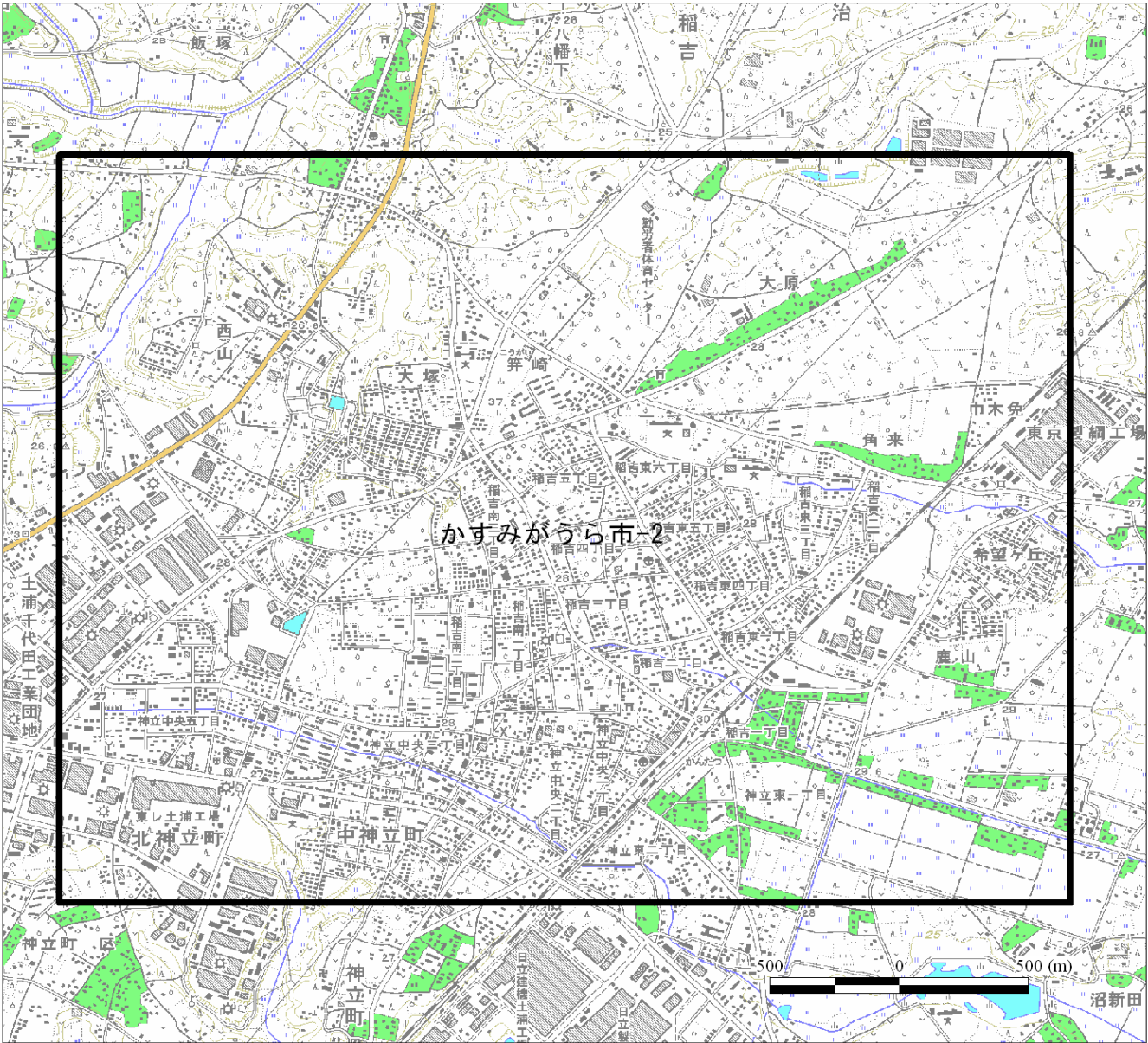


航空写真(googleマップ2011/3/29版)

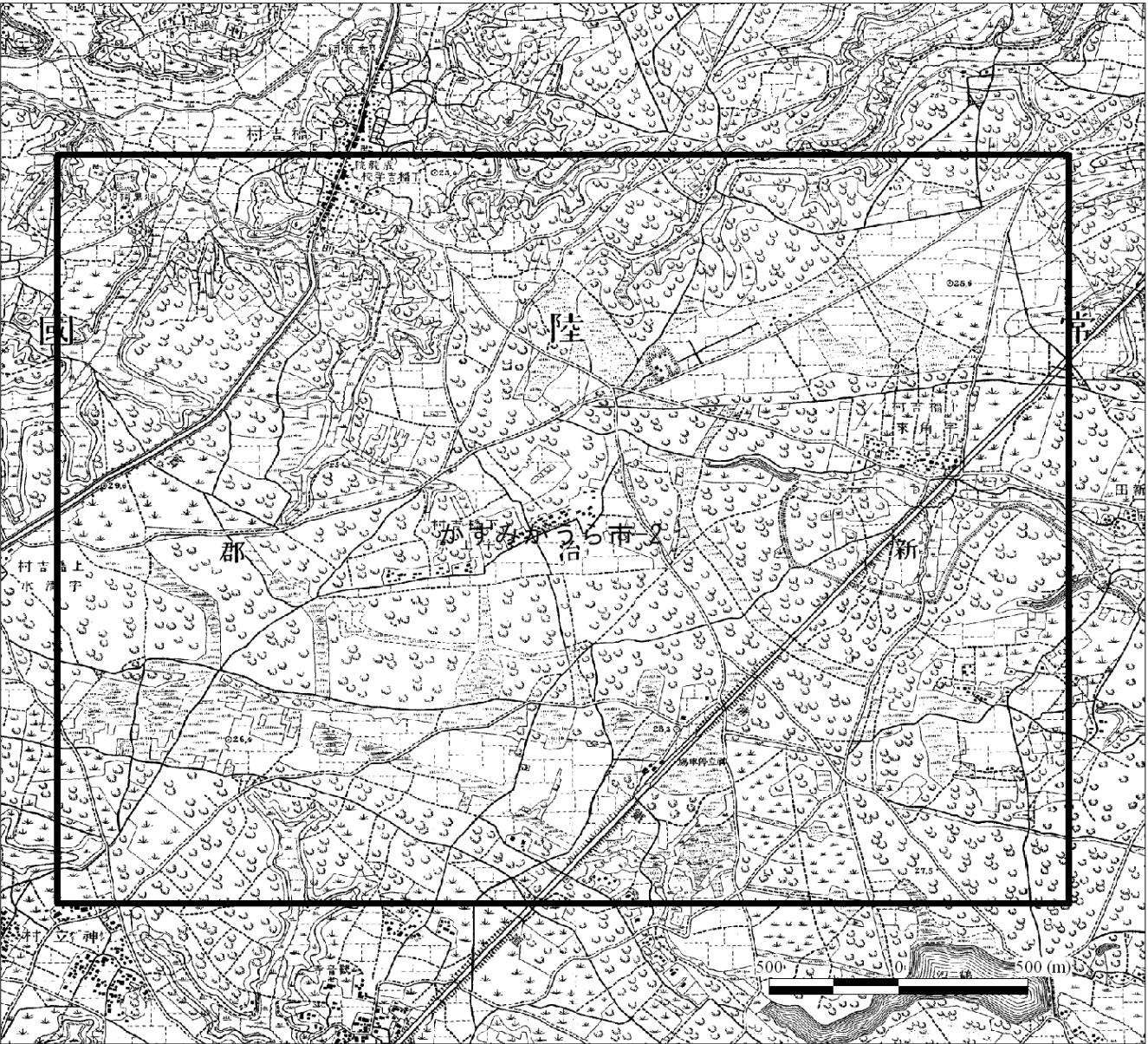


箇所名	かすみがうら市-2		都道府県	茨城県	市区町村	かすみがうら市	地区	稲吉南		3/6
発生面積	小	地形分類	谷底低地を改変		液状化発生履歴	液状化の履歴なし				
土地改変履歴	40年ほど前に水田・用水路を造成して宅地化									
被害概要	住宅3軒が全壊(現地調査時には取り壊し済)。全壊した戸建住宅の隣のアパートの駐車場に亀裂、駐車場境界部の側方変位									
噴砂の状況	不明	地盤の変形量(沈下、傾斜)		アスファルトに数cmの亀裂、境界部の側方変位10cm					被害の程度	小
出典・調査	かすみがうら市ヒアリング、東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会									

地形図(数値地図25000)

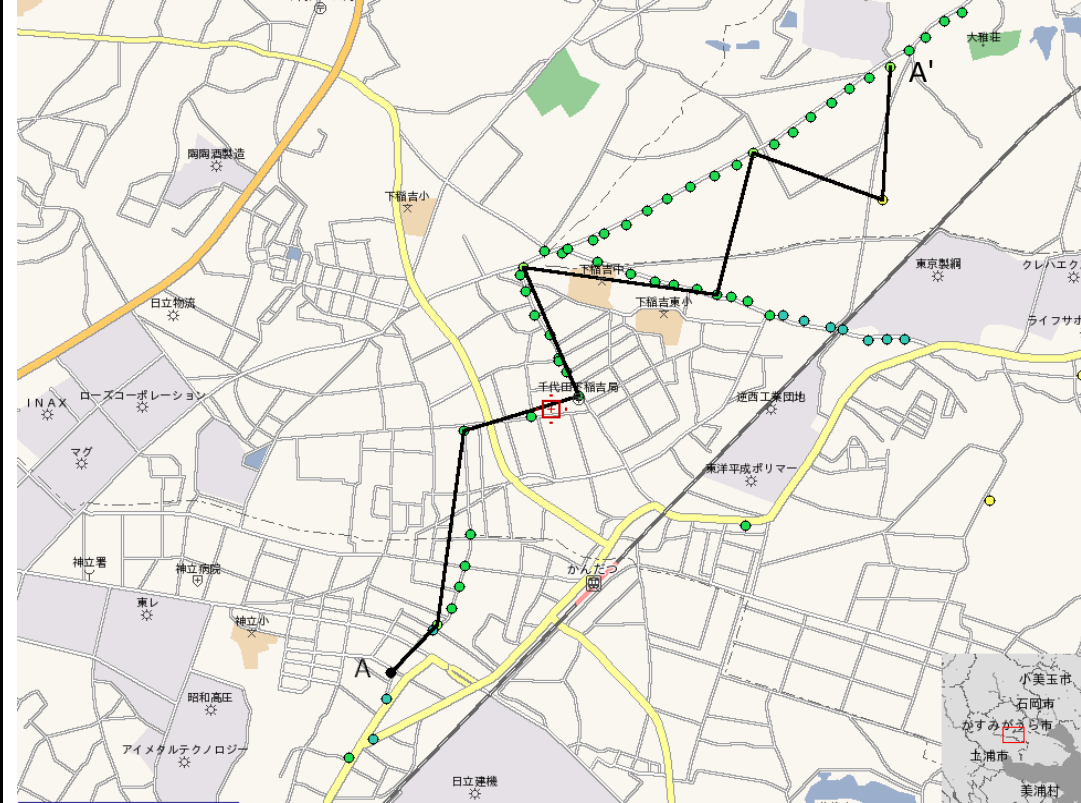


1/20000迅速図: 明治17年測量

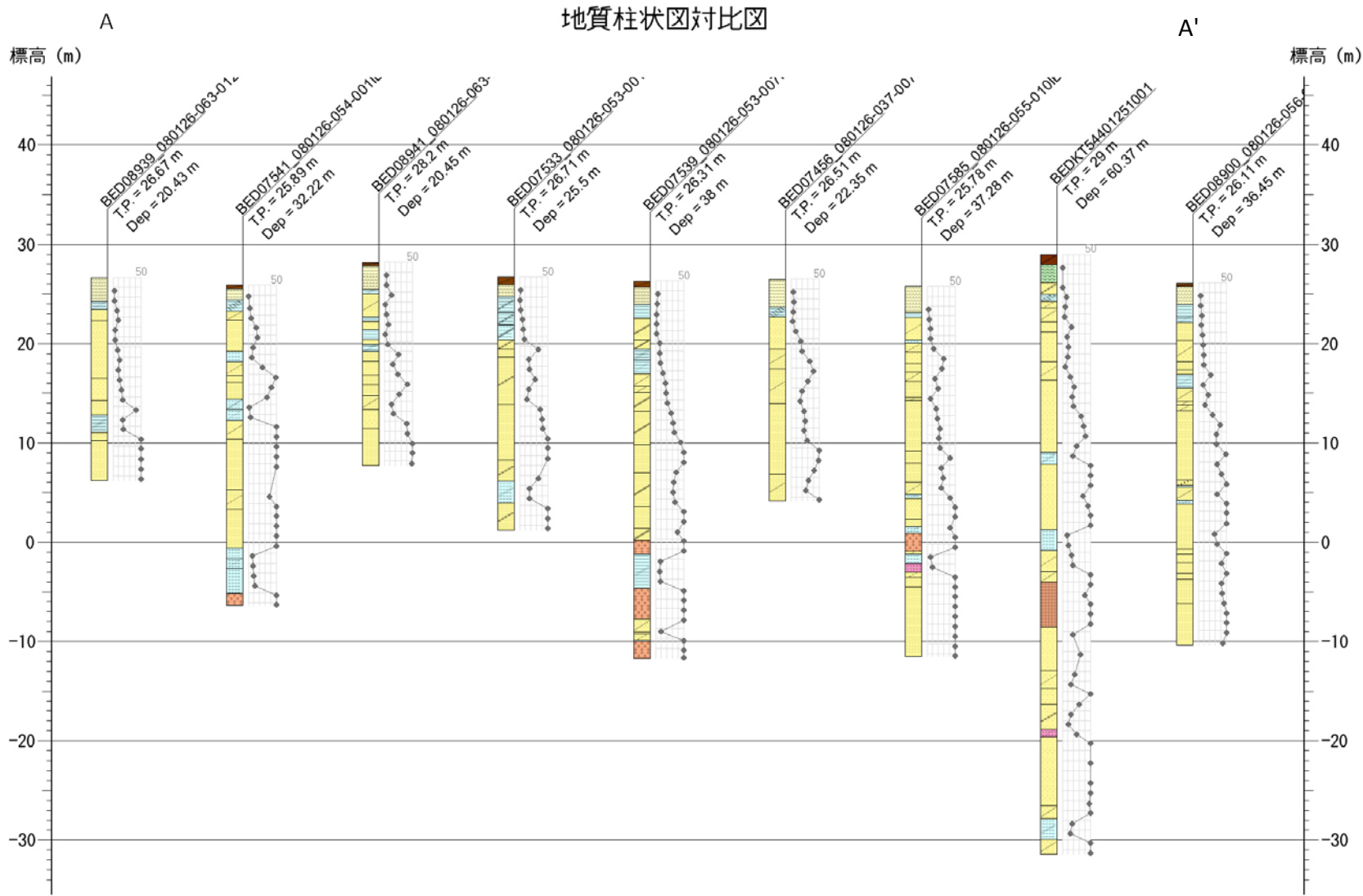


箇所名	かすみがうら市-2		都道府県	茨城県	市区町村	かすみがうら市	地区	稲吉南		4/6
地下水位	GL-1.2～7.25m	液状化対象層(層厚、深度)		Bs,As,Asc GL-0～21m(層厚9.5～21m)						
湿潤密度 ρ_t			平均粒径D50			細粒分含有率FC			塑性指数Ip	
平均N値	0～32		液状化強度RL20			S波速度Vs			相対密度Dr	
液状化抵抗率F			適用基準			液状化指数PL				

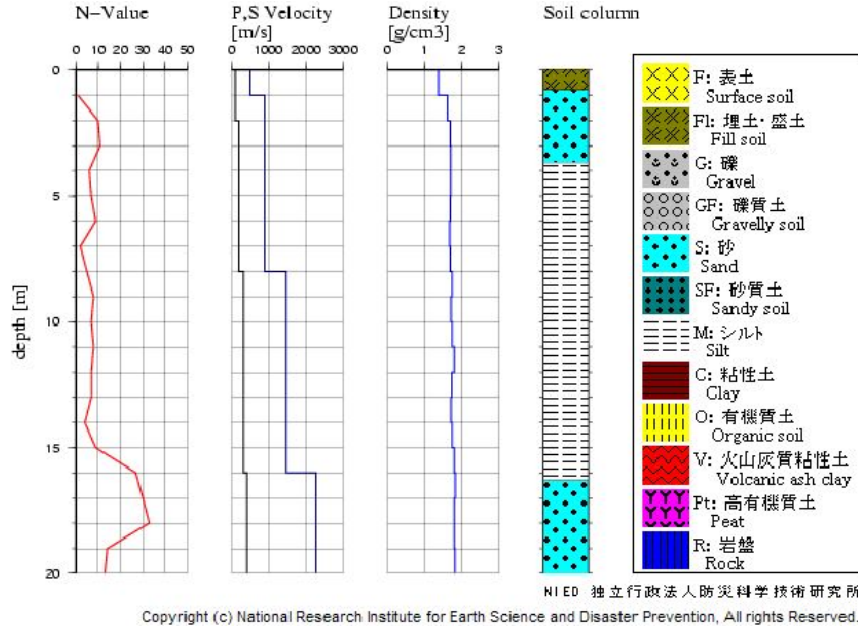
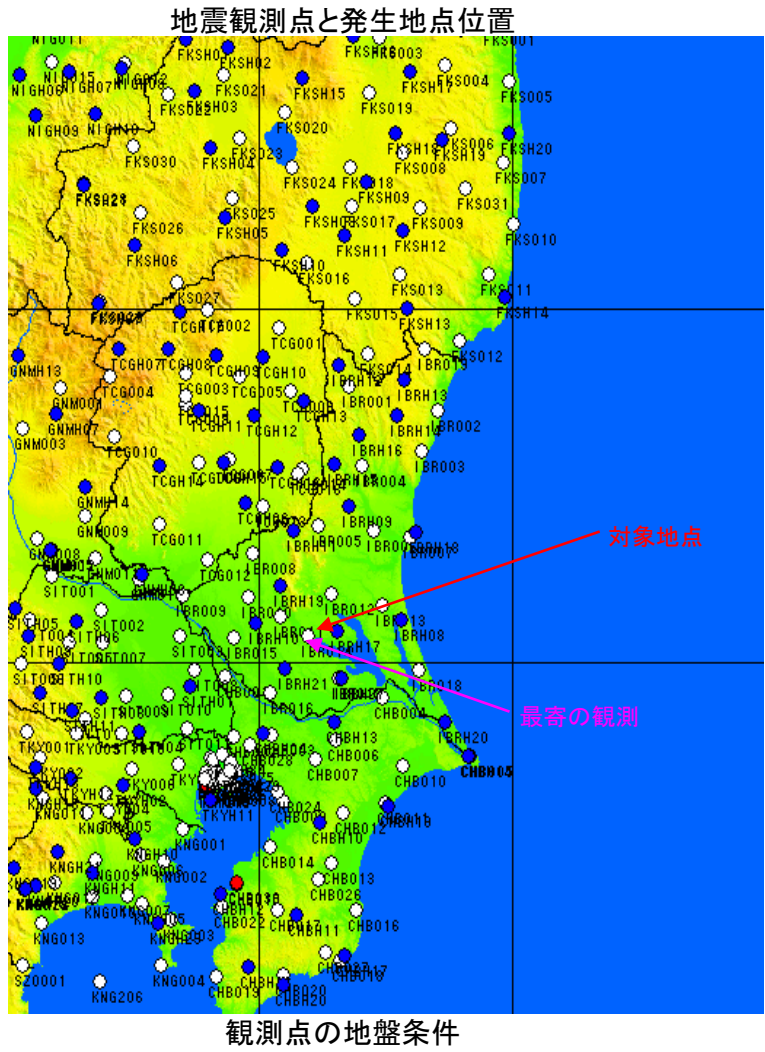
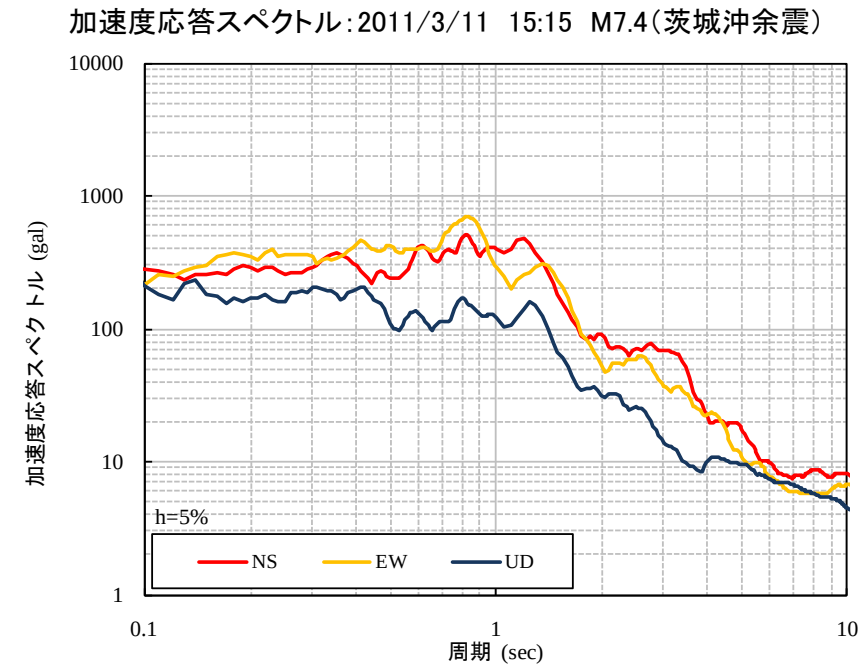
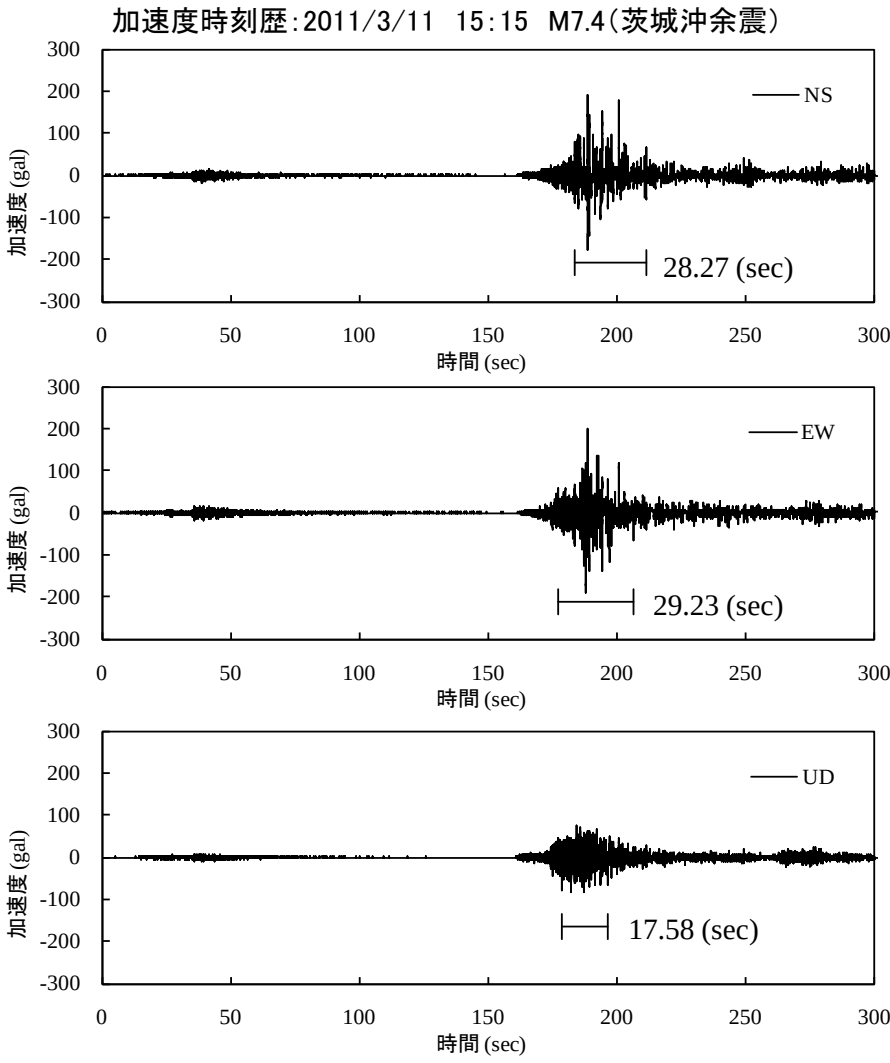
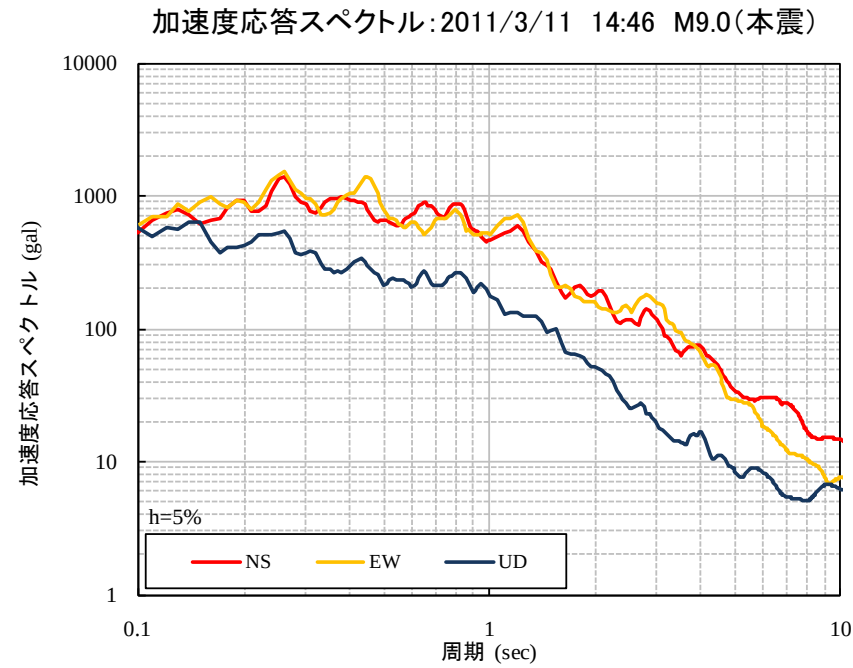
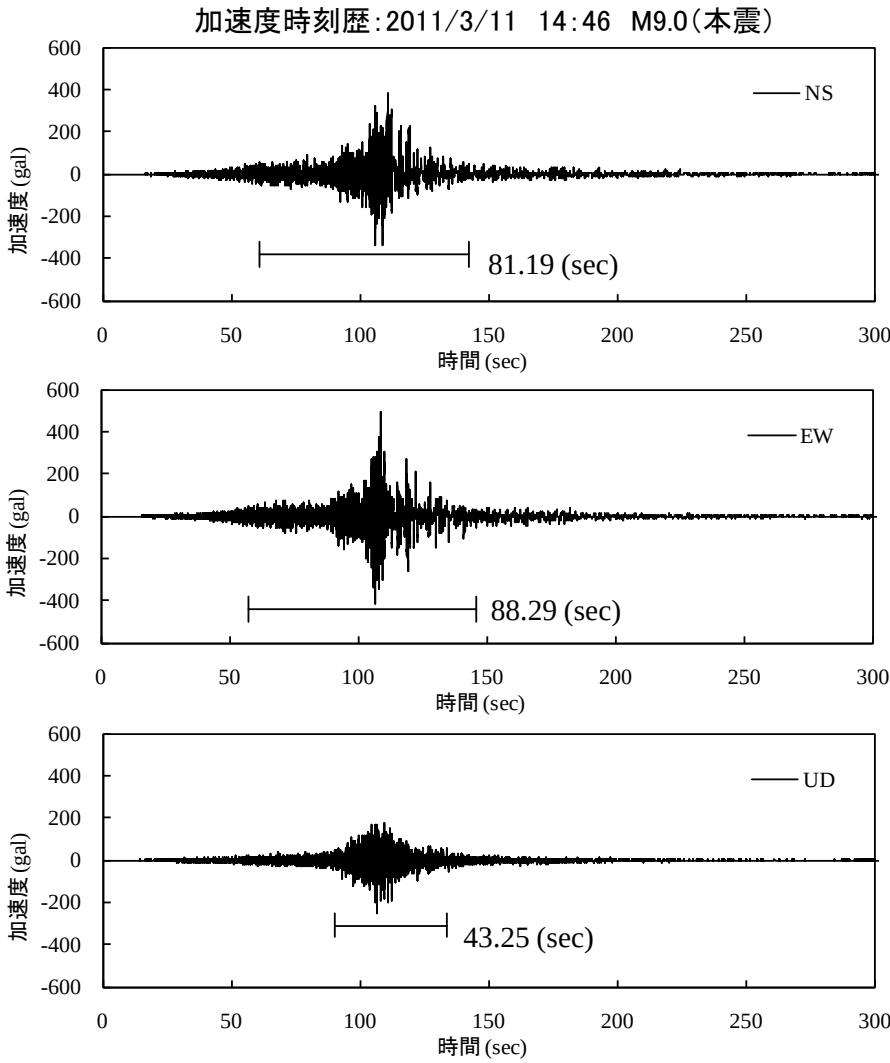
平面位置図



出典:防災科学技術研究所ジオステーション



箇所名	かすみがうら市-2		都道府県	茨城県	市区町村	かすみがうら市		地区	稲吉南				5/6
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)		観測点	K-NET土浦(IBR014)		対象地点との距離(km)	7.7	最大加速度(gal)	533.8	最大速度(kine)	47.1	継続時間(50gal以上)(s)	88.29
	2011/3/11 15:15 M7.4(茨城沖余震)								274.9		24.6		29.23
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値						気象庁震度(本震)	6弱		出典	防災科学技術研究所HP			



箇所名	かすみがうら市-2		都道府県	茨城県	市区町村	かすみがうら市	地区	稲吉南		6/6
発生面積	小	地形分類	谷底低地を改変		液状化発生履歴	液状化の履歴なし				
土地改変履歴	40年ほど前に水田・用水路を造成して宅地化									
被害概要	住宅3軒が全壊(現地調査時には取り壊し済)。全壊した戸建住宅の隣のアパートの駐車場に亀裂、駐車場境界部の側方変位									
噴砂の状況	不明	地盤の変形量(沈下、傾斜)		アスファルトに数cmの亀裂、境界部の側方変位10cm					被害の程度	小
出典・調査	かすみがうら市ヒアリング、東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会									

粕田金一（基礎地盤コンサルタンツ株）2011/7/25
隣接する駐車場の亀裂



隣接する駐車場の亀裂と取り壊し後の空き地

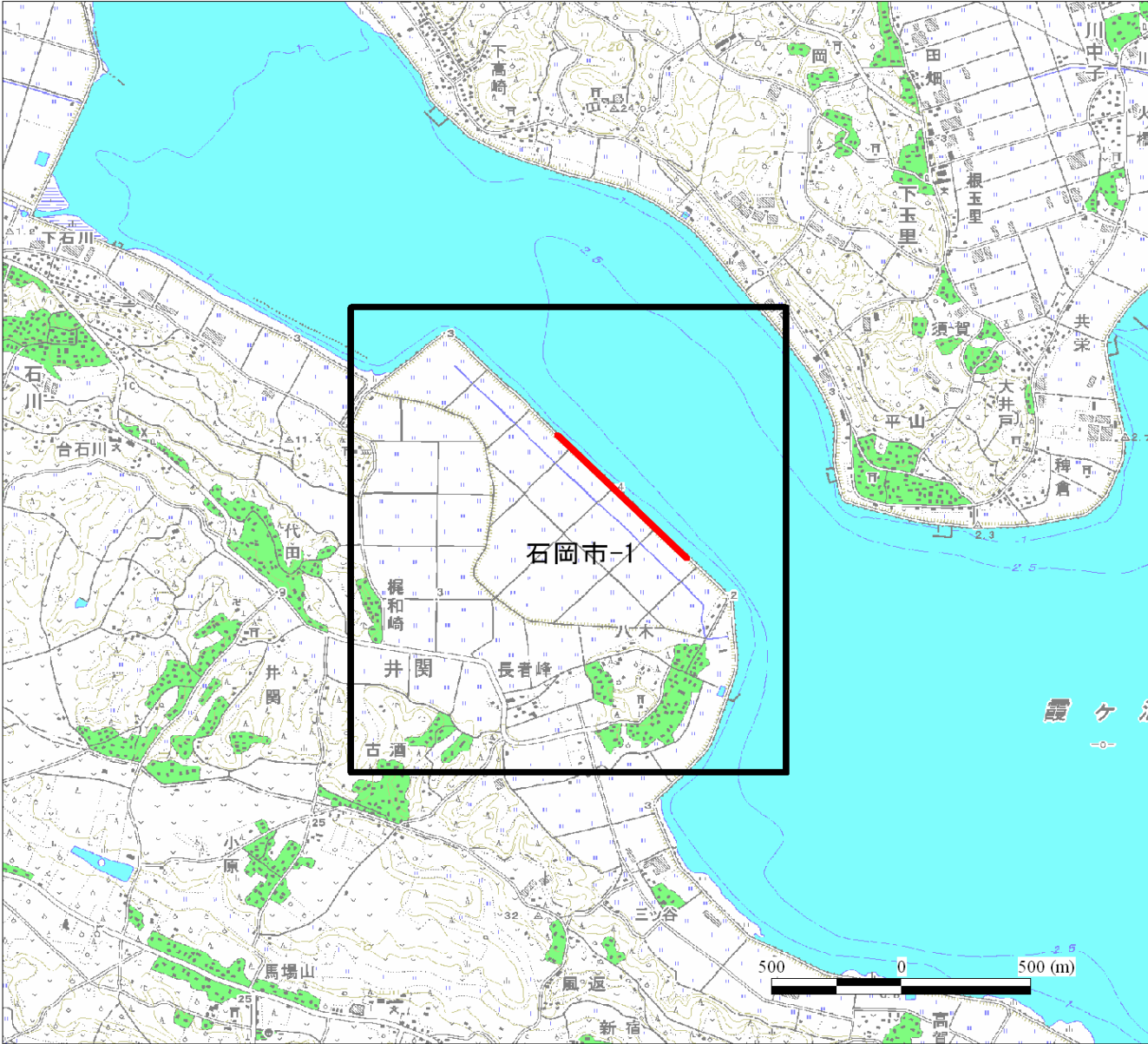


隣接する駐車場境界部の変状

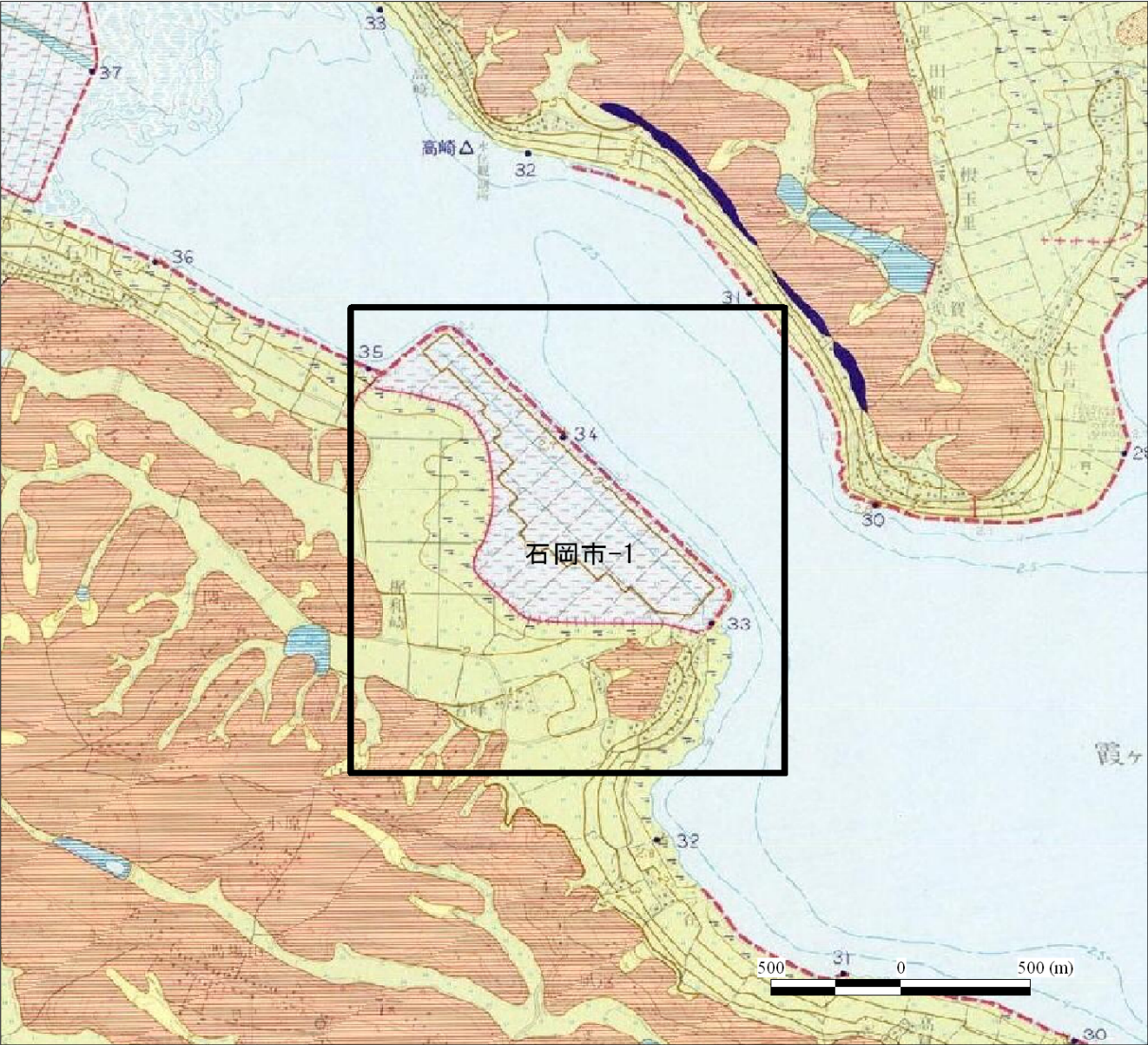


箇所名	石岡市-1		都道府県	茨城県		市区町村	石岡市		地区	井関		1/6
発生面積	小	地形分類	干拓地		液状化発生履歴		液状化の履歴なし					
土地改変履歴	1918年～1928年にかけての干拓による土地(水田)の創出											
被害概要	堤防が600mにわたり変状											
噴砂の状況	不明		地盤の変形量(沈下、傾斜)		不明				不明		中	
出典・調査	霞ヶ浦河川事務所											

平面図（赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない）

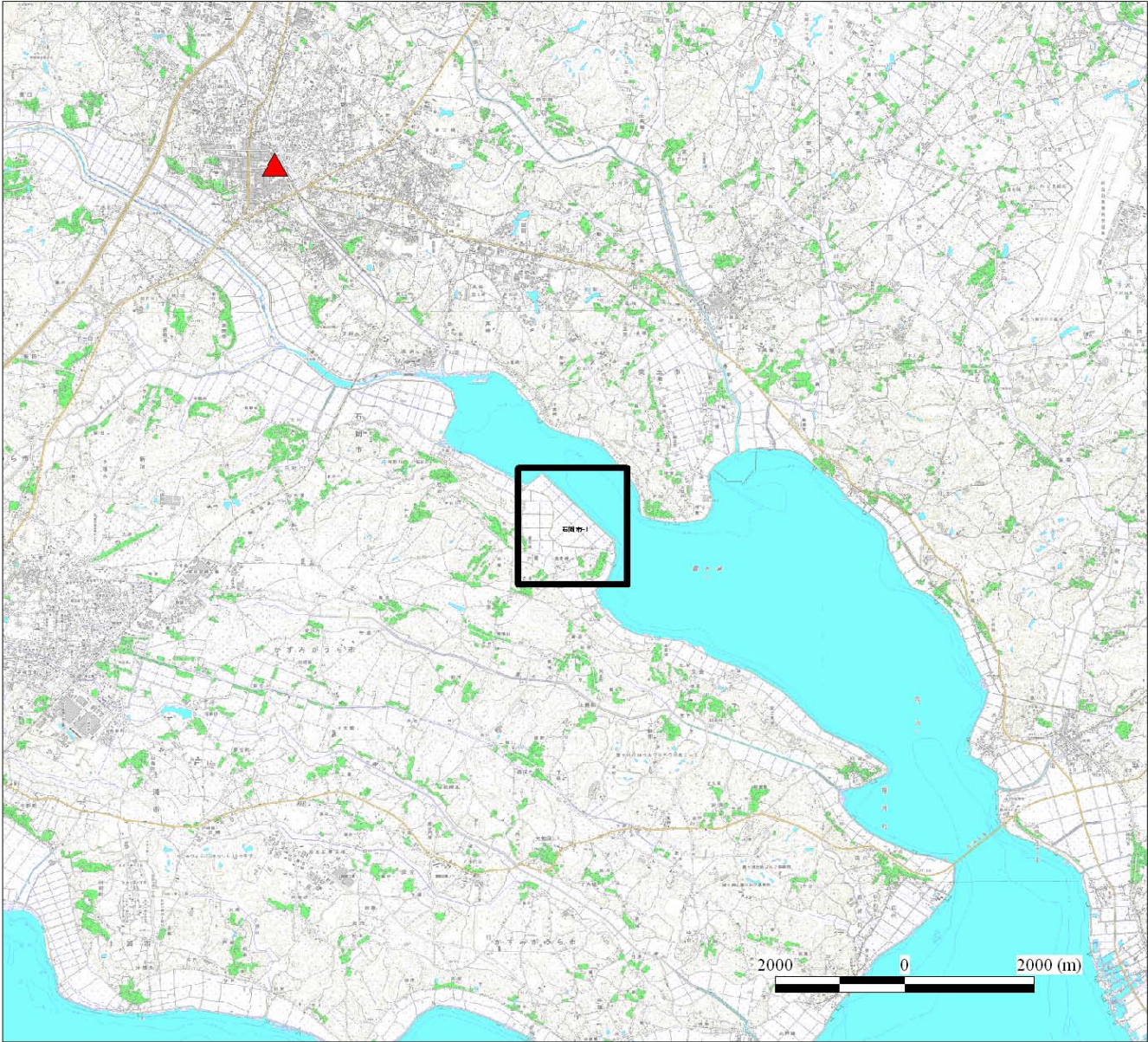


治水地形分類図



箇所名	石岡市-1		都道府県	茨城県		市区町村	石岡市		地区	井関		2/6
発生面積	小	地形分類	干拓地			液状化発生履歴		液状化の履歴なし				
土地改変履歴	1918年～1928年にかけての干拓による土地(水田)の創出											
被害概要	堤防が600mにわたり変状											
噴砂の状況	不明			地盤の変形量(沈下、傾斜)			不明			不明	中	
出典・調査	霞ヶ浦河川事務所											

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

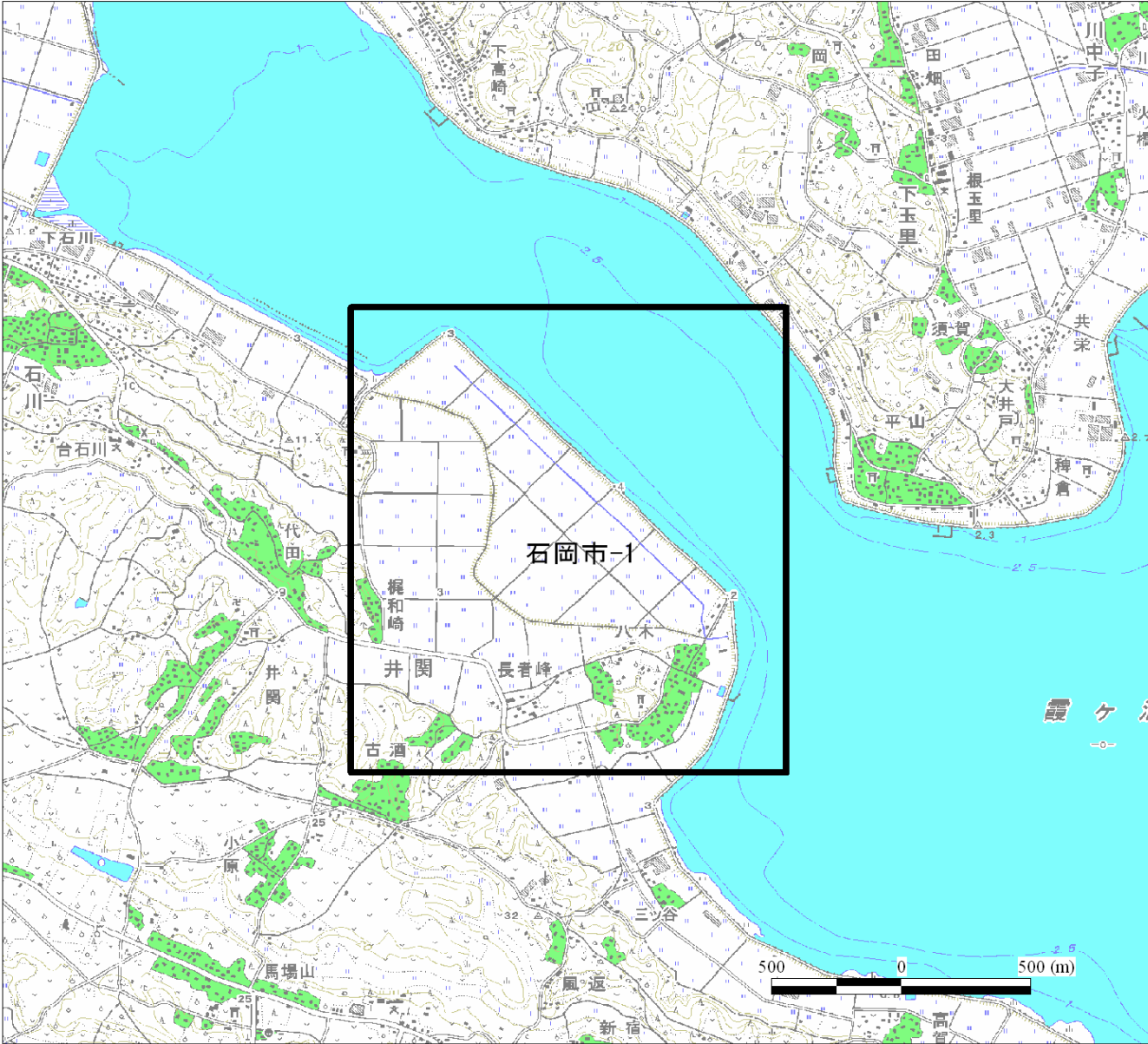


航空写真(googleマップ2011/3/29版)

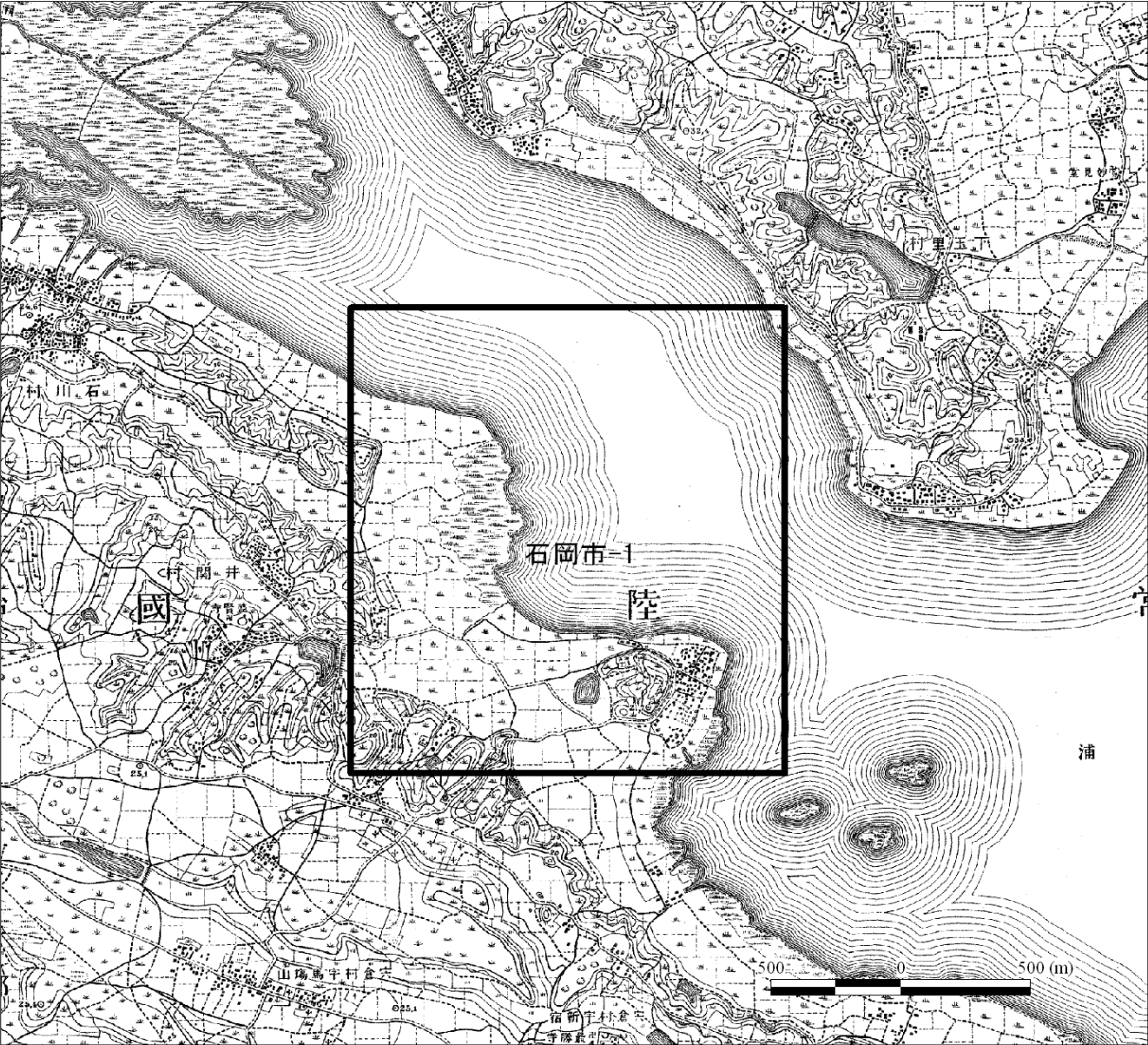


箇所名	石岡市-1		都道府県	茨城県		市区町村	石岡市		地区	井関		3/6
発生面積	小	地形分類	干拓地			液状化発生履歴		液状化の履歴なし				
土地改変履歴	1918年～1928年にかけての干拓による土地(水田)の創出											
被害概要	堤防が600mにわたり変状											
噴砂の状況	不明			地盤の変形量(沈下、傾斜)			不明			不明	中	
出典・調査	霞ヶ浦河川事務所											

地形図(数値地図25000)



1/20000迅速図:明治17年測量

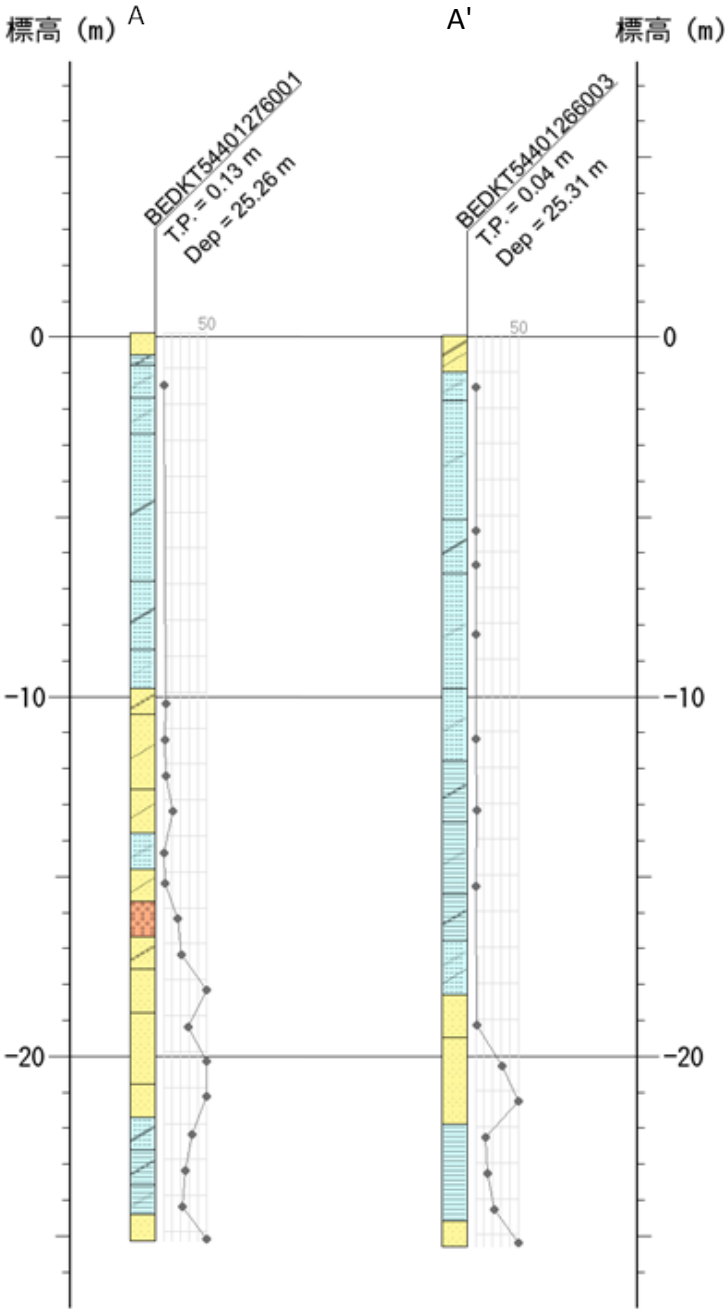


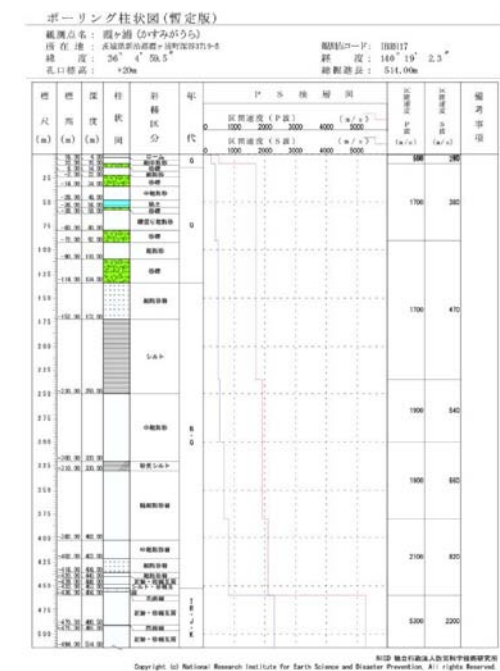
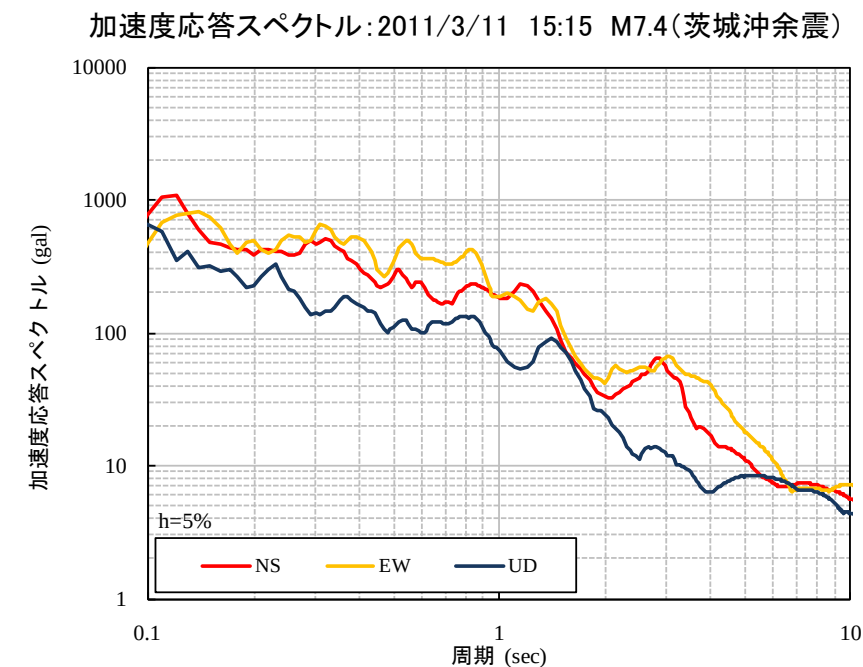
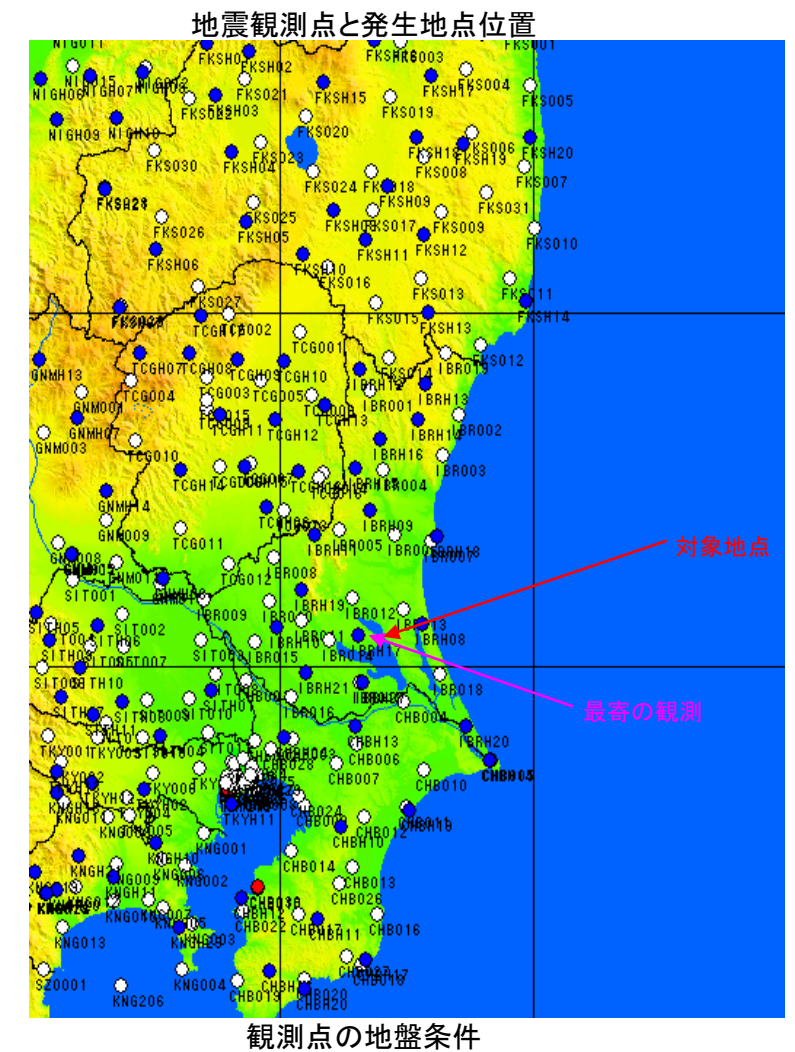
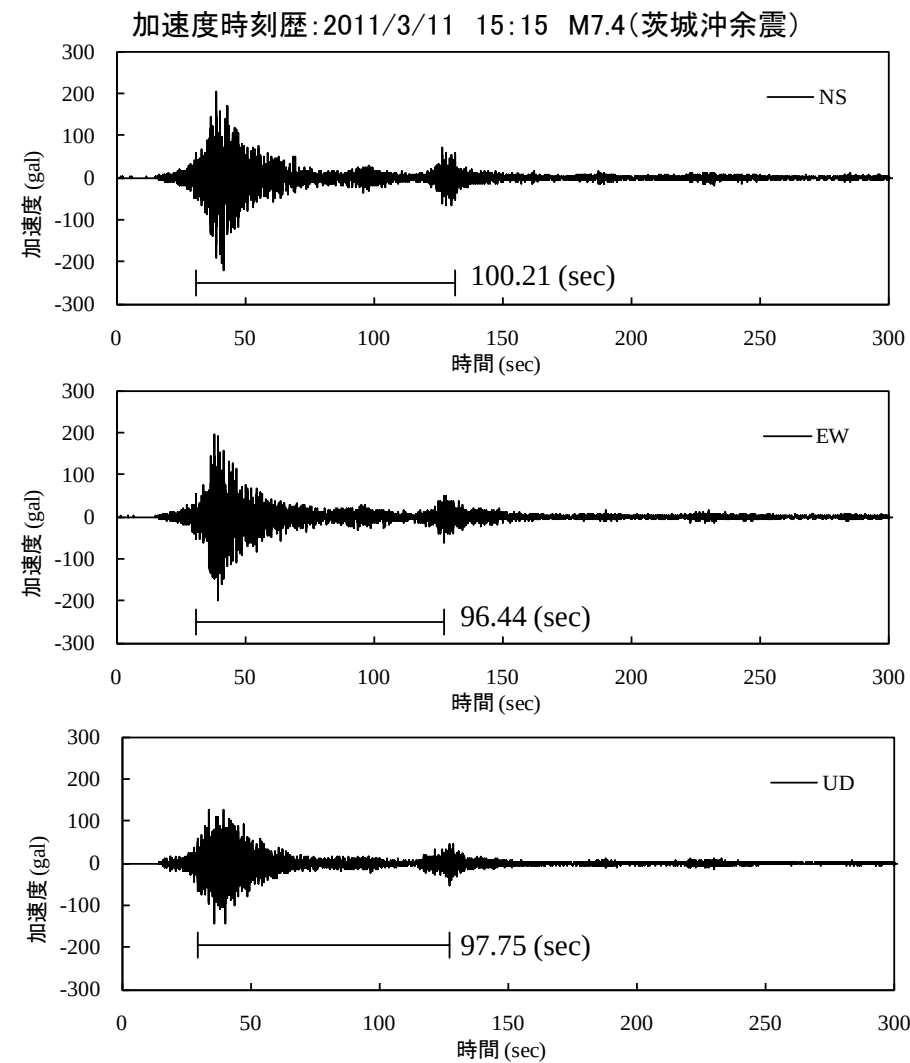
箇所名	石岡市-1		都道府県	茨城県		市区町村	石岡市		地区	井関		4/6
地下水位	GL-1.2～1.3m	液状化対象層(層厚、深度)		Bs,As,Asc GL-0～20m(層厚1～5m)								
湿潤密度 ρ t			平均粒径D50			細粒分含有率FC			塑性指数Ip			
平均N値	0～12		液状化強度RL20			S波速度Vs			相対密度Dr			
液状化抵抗率F			適用基準			液状化指数PL						

平面位置図



出典:防災科学技術研究所ジオステーション





箇所名	石岡市-1		都道府県	茨城県		市区町村	石岡市		地区	井関			6/6
発生面積	小	地形分類	干拓地			液状化発生履歴	液状化の履歴なし						
土地改変履歴	1918年～1928年にかけての干拓による土地(水田)の創出												
被害概要	堤防が600mにわたり変状												
噴砂の状況	不明			地盤の変形量(沈下、傾斜)			不明			不明		中	
出典・調査	霞ヶ浦河川事務所												

